

年 組 () 名前

サイン

園児たちが手がけた七夕飾り(22日、JR新青森駅で)



(2021年6月23日 読売新聞青森版より)

しちがつなのか
◆7月7日は七夕。織姫と彦星が年に一度、
あまがわをわたって出会う日とされています。J
アールしんあおもりえき てんじ
R新青森駅に展示されている七夕飾りには、
じもと なつまつ
地元の夏祭り「ねぶた」も描かれています。

七夕飾りに夏感じて

【1】「七夕」の読みをひらがなで書きましょう。

--	--	--	--

【2】()にあてはまる言葉を、下の
に書きましょう。

JR新青森駅の1階東口に、あすなろ幼稚園(青森市奥内)とあすなろキッズ園(青森市三好)の園児たちが制作した七夕飾りが展示されている。
縦約2尺、横約5尺の黒い布に天の川があらわれ、「警察官になりたい」「コロナがおさまったらいろんなどころに遊びにいきたい」など園児たちが願うことを書いた短冊が貼られている。ちぎり絵でねぶたを描き、脇のササには金魚ねぶたをつるすなど、青森らしい作りとなっている。

七夕は年に一度、(①)と(②)が、(③)を渡って出会えるとされている日。

①	②	③
---	---	---

【発展問題】青森の夏祭り「ねぶた」は、もともと七夕の行事だったとも言われています。「ねぶた」について調べ、分かったことを裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆北海道には、古くから先住民族「アイヌ」の人たちが暮らしています。

(2021年7月1日 読売KODOMO新聞より)

【1】北海道に古くから住む先住民族は、何と呼ばれていますか。

Blank box for answer to Q1.

【2】記事を読んで、下の文の□に入る言葉を見つけて書きましょう。

アイヌの人たちは、本州の和人と異なる□や□を持つ民族です。

【3】和人と衝突が増えたのは、いつからですか。それはどのような理由からですか。

Blank box for answer to Q3 (first part).

Blank box for answer to Q3 (second part).



アイヌ古式舞踊のイオマシテリムセ(熊の霊送りの踊り)を披露する踊り手(2015年8月、北海道白老町のアイヌ民族博物館で)



アイヌの住居「チセ」

アイヌの伝統と文化を伝える拠点として、2020年7月にオープンしたのがウポポイです。大勢で歌うという意味のアイヌ語で、アイヌ文化を紹介する初の国立施設として、白老町に建設されました。施設を中心に「国立アイヌ民族共生公園」が広がります。アイヌの住居「チセ」のほか、伝統的な踊りや歌などを見学できる体験ホールも整備されています。ウポポイだけでなく、道内にはアイヌ文化に触れる施設がたくさんあります。「アイヌについてもっと知りたい」と思ったら、ぜひ、訪ねてみてください。

「ウポポイ」文化伝える拠点

アイヌの伝統と文化を伝える、発信するための拠点として2020年7月にオープンしたのがウポポイです。大勢で歌うという意味のアイヌ語で、アイヌ文化を紹介する初の国立施設として、白老町に建設されました。

北海道には、古くから先住民族「アイヌ」が暮らしていました。アイヌは本州の「和人」とは異なる文化や言語を持つ民族です。本州では縄文時代が終わる、弥生時代(紀元前4世紀〜3世紀)に入ると稲作が始まりました。でも、寒い北海道で稲作は行われず、野山で狩り

言語、風習…禁止された時代も

をしたり、川で魚を取ったりする縄文文化が続きました。この「縄文文化」を元に、12〜13世紀ごろに独自のアイヌ文化が成立したと考えられています。アイヌと和人は交流しながら生活していましたが、江戸時代ごろから衝突が増えています。明治時代になると、政府の「同化政策」(日本人全員を

和人の文化・習慣に統一する政策)によってアイヌの文化や風習は禁止され、伝統的な生活もできなくなりました。「アイヌは先住民だ」というアイヌの訴えが実を結んだのは2019年のことです。この年の5月、アイヌを「先住民族」と明記したアイヌ施策推進法(時事ワード6ページ)という法律が施行されました。

年 組 () 名前

サイン

豪雨 避難方法あらかじめ確認



避難情報はこう変わった

警戒レベル	状況	行動を促す情報	
		新	旧
5	災害発生 または切迫	緊急安全確保	災害発生情報
～レベル4までに必ず避難！～			
4	災害の恐れ 高い	避難指示	避難指示(緊急) 避難勧告
3	災害の恐れ あり	高齢者等避難	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	気象状況 悪化	大雨・洪水・大潮注意報	
1	今後、気象状況 悪化の恐れ	早期注意情報	

レベル4 「避難指示」に一本化

避難情報は、河川の氾濫などによる災害の危険度が高い順に、警戒レベル5から1に分けて発表されている。災害の恐れが高いレベル4では、「避難勧告」や「避難指示(緊急)」が出されていたが、違いがわかりにくいとの指摘があり、今年5月20日、「避難指示」に一本化された。

豪雨災害にいつ襲われてもおかしくない季節になった。今年は、自治体が出す避難情報の見直しも行われている。新型コロナウイルスの感染拡大が続き、避難の制約もある中、備えを確認したい。(崎長敬志、大郷秀爾、梶彩夏)

◆災害時に自治体が出すのが避難情報ですが、もっと分かりやすくという声があり、このほど、表現が改められました。(2021年6月5日 読売新聞朝刊より)

災害の恐れがあるレベル3で出される情報は、名称が「高齢者等避難」に。高齢者に早期の避難を促すためだが、それ以外の人も外出を控えたり、避難準備をしたりたい。レベル5で出される「緊急安全確保」は、災害がすでに発生、またはほぼ確実に発生することを示している。自宅の上階に移るなど、緊急の安全確保が求められる。静岡大教授の牛山素行さん(災害情報学)は「緊急安全確保が出される段階は、すでに大変危険な状況だ」ということを知ってほしい」と呼びかける。



大雨で避難指示が出た熊本県天草市で、水しぶきを上げて走行する車(5月20日、浜村勇撮影)＝画像の一部を修整しています

【1】 次の文の()に入る適切な言葉を書きましょう。

これまで警戒レベル4の段階で出されていた避難情報には()と()があったが、新たに()に一本化された。

【2】 警戒レベル3の「高齢者等避難」に含まれるのは、高齢者以外にどのような人たちか考え、下に書きましょう。

【3】 公民館などの避難所に持参する物には、新型コロナウイルス感染防止対策も考える必要があります。思いつく物を書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

列にならべて歩くコブハクチョウの親子



コブハクチョウ 実は「外来種」



河口湖 生態系影響も

河口湖で昨年から生息が確認されているコブハクチョウの唯一のつがいから、9羽のヒナが生まれた。親鳥にくっついて離れない愛くるしい姿が観光客や地元住民を楽しませているが、元々日本に生息していなかった「外来種」だ。どう対応すべきか、関係者の間でも様々な意見が出ている。(清水誠勝)

山中湖では「村の鳥」

山中湖村では、コブハクチョウは「村の鳥」として愛される存在だ。村観光産業課によると、約50年前、別荘の住民らが「山中湖を白鳥の湖にしよう」と山口県の公園から購入し、放鳥した。現在は約50羽が生息している。渡り鳥ではなく通年でその姿を楽しめることから、観光客にも人気を博している。

国立環境研究所の「侵入生物データベース」によると、コブハクチョウはヨーロッパ西部や中央アジアなどに分布。国内では1952年に皇居外苑の堀に放鳥されるなど、人の手によって持ち込まれて各地で繁殖した。オレンジ色がかかった赤色のくちばしと、目の近くのコブが特徴だ。縄張りの意識が強く、在来種の水鳥を追い出し、近づいた人間を攻撃することもあるという。千葉県の手賀沼では、周辺の農家の稲が食い荒らされる被害も報告されている。ただ、環境への影響が大きいものについて国

◆山梨県の河口湖に昨年からすみついたコブハクチョウ。日本に元々いなかった「外来種」について、私たちはどう対応するべきなのでしょう。

(2021年6月4日 読売新聞山梨版より)

が指定する「特定外来生物」ではなく、外来種といえども直ちに駆除が必要とされるわけではない。県鳥獣センター職員の斉藤次郎さん(32)は「法的な規制はないものの、増えすぎれば生態系に影響が出る恐れはある。実態を調査し、適正に管理することが重要だ」と指摘する。生息域の拡大を防ぎ、環境への影響を抑えるには、翼の一部を切ることで飛べなくしたり、個体識別のためのリングを体に取り付けて管理したりする方法がある。都留市の環境コンサルタント篠田授樹さん(55)は「人の手で持ち込まれたとはいえ、かわいがってきたのも事実だ。放置せず、対応を地元のみんなで話し合っていくべきだ」と話している。

【1】この鳥が増えることで心配されることを三つ、書きましょう。

【2】あなたは、この鳥にどのような対応をしていくべきだと考えますか。

.....
.....

.....

【発展問題】日本には、どのような外来種がすみついているのでしょうか。あなたの家の近くや日本中にある外来種を調べ、その生物が私たちの生活や環境に与えている影響を、裏に書きましょう。



年 組 () 名前

サイン

◆約20万人が犠牲になった沖縄戦の
終結から76年を迎え、沖縄県糸満市
摩文仁の平和祈念公園では、戦没者
の遺族らが静かに祈りをささげました。

(2021年6月24日 The Japan Newsより)

ITOMAN, Okinawa -- Okinawa Prefecture marked 76 years since the end of the Battle of Okinawa on Wednesday, commemorating those who died in the fierce battle in the closing days of World War II.

Family members were among those who offered prayers from early in the morning at the Peace Memorial Park in the Mabuni area of Itoman, where the last major fighting in the battle took place.

The ceremony for the annual Okinawa Memorial Day at the park was scaled back to limit attendance to about 30 people, as Okinawa is the only prefecture currently under a state of emergency due to the novel coronavirus.

Normally, about 5,000 people, including members of the general public, attend the ceremony organized by the prefectural government and the prefectural assembly, but this year Prime Minister Yoshihide Suga and other Cabinet members were not invited to prevent the spread of infections.

【1】平和祈念公園がある糸満市摩文仁は、沖縄戦でどのようなことがあった場所か、英語で書きましょう。

【2】今年の追悼式の参列者は約30人に制限されました。その理由と、例年は今年の何倍の人が参列するのかを、一の位で四捨五入して約(およそ)の数で答えましょう。

・理由 [] ・例年は約 [] 倍

【3】6月23日は、太平洋戦争中に住民を巻き込んだ国内唯一の地上戦が行われた沖縄で、76年前に組織的な戦闘が終結した日です。何と呼ばれる日か日本語で書きましょう。

Prefecture: 県、mark: ~を記念する、the Battle of Okinawa: 沖縄戦、commemorating: 追悼する、fierce: 激しい、in the closing days of World War II: 太平洋戦争末期、offered prayers: 祈りをささげた、the Peace Memorial Park: 平和祈念公園、Mabuni area of Itoman: 糸満市摩文仁、took place: 行われた、起きた、The ceremony for annual Okinawa Memorial Day: 沖縄全戦没者追悼式、was scaled back: 縮小された、limit: 制限する、attendance: 参列者、currently: 現在、under a state of emergency: 緊急事態宣言下、due to ~: ~のために、the novel coronavirus: 新型コロナウイルス、including: 含む、general public: 一般市民、government: 政府、行政、prefectural assembly: 県議会、Prime Minister: 首相、Cabinet members: 閣僚、invite: 招待する、prevent: 防ぐ、the spread of infections: 感染拡大

©The Yomiuri Shimbun

76 years marked since Battle of Okinawa's end

